

平成25年度「使える英語プロジェクト事業」公開授業及び研究協議会の報告書

市町村名 能勢町

実践研究校名 能勢町立東郷小学校

【公開授業】公開日：平成25年 7月10日

対象学年：6年

(教材・教科書名) Hi, friends!2 (単元名) Lesson7 “We are good friends.” 「オリジナルの物語を作ろう」 ～英語で童話を楽しもう～	(本時の指導の目標) ・日本や世界の物語を英語で表現してみる楽しさを知る。 ・まとまった英語の話を聞いて、内容がわかり、場面に合ったセリフを言う。
---	---

(本時の授業において工夫した点)

- ・今まで習ったことばや文型を活用して物語を作るようにした。
- ・リズムカルな英語を楽しみながら、自分たちでも表現してみる楽しさを味わうことができるようにした。

(授業後を終えた教員の感想)

- ・児童は緊張せず、リラックスモードで授業を受けていた。
- ・指導者からのアドバイスが子ども同士から出てくれば良かった。
- ・担任が子どもの前で大きな声、大きなジェスチャーでがんばっていた。

【研究協議会】

(テーマ)オリジナルの物語を作成するにあたって、今まで慣れ親しんだ英語の表現を活用しながら、何を大切にどこまで指導するか。	(指導・助言者) 加賀田 哲也 (大阪教育大学教授)
---	-------------------------------

(研究協議会で出された意見)

- ・辞書を使った学習も自立学習として評価できる。
- ・セリフの量の均一化を図り、小道具、衣装は最低限の用意でよい。
- ・語彙については、既習の表現を基本とし、身近に使える表現を加える。
- ・担任とALTとの役割分担ができていた。
- ・子どもが今何をするのか、はっきりわかるように指示したほうがよい。

(まとめ)

1. オリジナルの物語を作成するにあたって、日本語のオリジナルの物語の台詞を簡単な日本語の台詞にしてから英語の台詞になおすように指導する。
2. T1としての担任は、学習者としてのモデルを示すことや英語で指示を出したりする。
3. 劇として、相手に気持ちを伝えるにはどうしたらよいか考え、グループでアイデアを出し合うことで学び合いの体験をさせる。そして、完成した後の達成感を味わせる。